


【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-22-2 事業名 防災緑地整備事業（東北電力高圧線下）
事業費 総額 16,884 千円 （内訳：調査設計費 16,884 千円）
事業期間 平成 24 年度～平成 25 年度
事業目的・事業地区 東日本大震災の津波被害を踏まえ、現地再建を基本に復興まちづくりを推進することとして策定した多賀城市震災復興計画に掲げるビジョン実現を目指して、早期に多重防御を含めた減災対策を推進していくこととし、今後想定される最大級の津波による浸水深と流速を抑え、津波到達時間を極力遅らせるとともに、がれき、自動車等の流入物を捕捉することにより、流入物が住宅へぶつかり躯体を傷つけるなどの市街地住宅の被害軽減を図るため、多重防御策の一つとなる東北電力高圧線下を活用し、盛土し、防災林の植栽整備を行うための調査設計を行ったもの。  位置図 
事業結果 対象箇所：市内東北電力高圧線下用地（面積約 3ha）  <平成 24 年度～平成 25 年度> ・調査設計 16,884 千円
事業の実績に関する評価 ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・本事業に基づき調査設計や関係機関協議を実施した結果、整備効果に対して、事業費が膨大となることが判明した。よって、より費用対効果が高い地域（D-22-1 八幡通り防災公園整備事業より整備を実施）を整備することとなった。  ②コストに関する調査・分析・評価 ・事業費の積算は、設計業務等標準積算基準書等により実施し、多賀城市契約規則等に基づき契約を行い、業者を選定している。 ・コストについては比較できる直近の同種他事業が無いため分析は困難であるが、

調査設計費については、基準書等を元に積算し、入札により契約を締結したことから、当該事業費は妥当なものと判断される。

③事業手法に関する調査・分析・評価

・本事業は、以下のとおり事業を進めた。

<想定した事業期間>

調査設計 入札・発注・完了 平成24年4月～平成24年9月

<実際に事業に要した事業期間>

調査設計 入札・発注・完了 平成24年4月～平成26年3月

・市内東北電力高圧線下用地（東北電力所有地）での整備となることから、東北電力との協議に期間を要した結果、当初想定した期間以上に時間を要した。

事業担当部局

建設部復興建設課 電話番号：022-368-1141